

財務局の業務

Our Mission

財務省北海道財務局は、地方における財務省の総合的な出先機関として、財政・国有財産の業務や、金融庁長官からの事務委任として金融機関の検査・監督業務など、国の経済と国民生活に深く関係する業務を行っています。

財務局の業務は幅広く、イメージしにくいと思われる方も多いですが、財務局は財務省及び金融庁それぞれの使命を担っており、「財政」「金融」の枠組みのなかで、地域において幅広い業務を遂行しております。



財政の仕事

- ・災害復旧に関する業務
- ・予算執行に係る業務
- ・地方公共団体への資金貸付（財政投融资）

経済調査の仕事

- ・法人企業統計調査
- ・法人企業景気予測調査
- ・管内経済情勢報告（調査結果は国の財政政策等の企画立案に寄与）

金融の仕事

- ・金融機関の検査、監督業務
- ・証券取引等の監視
- ・地域密着型金融や金融円滑化の推進
- ・多重債務者相談

国有財産の仕事

- ・国有財産の調整や売却、貸付等を通じた有効活用（国有財産の売却収入等は、税外収入として国の財政に寄与）

予算執行調査

国は毎年、社会保障や公共事業等の様々な行政需要を満たすため、予算編成を行っています。財務局では、予算の使い方が非効率となっていないか、無駄な部分が生じていないか、といったチェックを予算の執行段階で行います。調査結果は、財務省主計局へ報告され、翌年の予算に反映されます。

また、地震や台風などで道路等公共的な施設が被害を受けたときには、現地にて災害の状況や国が負担する復旧事業費の金額を確認するなどして、少しでも早く災害復旧が行われ、生活環境の安定が図られるよう努めています。



証券取引等の監視

証券取引等の公正性・透明性を確保し、投資家を保護することも、財務局の役割の1つです。具体的には、証券会社等に対する検査・監督のほか、インサイダー取引や相場操縦等の違法行為の監視を行っています。違法行為に対しては、証券取引等監視委員会と連携して、課徴金の賦課や検察官への告発を行うための調査を行います。

財政投融资



財政投融资とは、国による、長期・低利資金の融資、出資の活動です。各財務局は、地方公共団体が、学校、病院、上・下水道、社会福祉施設等を建設する資金を必要とする場合に、財政融資資金を貸し付けています。身近な例では、札幌市営地下鉄の転落防止柵の設置に係る資金の一部にも財政融資資金が使われています。

また、資金の貸し手としての立場から、貸付先である地方公共団体の財政状況を把握するためのヒアリングを行っています。

国有財産の有効活用



財務局は、国有財産の管理・処分事務の実務を担当しています。適切に管理や売却等の処分を行うことはもちろんですが、介護施設設置のために定期借地権を利用した国有地の貸付などの人々の安心につながる活用、地方都市や大都市の再生につながる活用など、新たな取組にも力を入れています。

また、観光地として有名な函館山や、羊が丘展望台も国有財産であり、地元市町村に貸付を行っているものです。

さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災においては、被災者を国家公務員宿舎に受け入れたほか、国有地を仮設住宅用地や被災車両置場として利用できるよう、各自治体に対して無償で貸付を行っています。

地域経済の調査

企業へのヒアリングや地域経済に関するデータを収集・分析して、地域の経済情勢をタイムリーに把握し、四半期毎に財務大臣や財務省の幹部に報告しています。財務省では、報告された各地域の経済情勢を踏まえ、各種マクロ経済政策を企画・立案していくことになります。

地域金融機関の検査・監督

地域金融機関とは、地方銀行のほか、地域に密着している信用金庫や信用組合です。地域金融機関は、預金と貸出金では約6割、店舗数では約9割を占めており、日本経済の中で大きな役割を担っています。

財務局は、こうした地域金融機関に対する検査や監督を担当しています。継続的なモニタリングや立入検査を通じて、金融機関の財務の健全性やリスク管理の状況をチェックするとともに、必要があれば業務改善命令等の権限も行使します。こうした取組みにより、財務局は、預金者保護という重要な役割を果たしています。